

## 大間原子力発電所 審査会合における指摘事項について(地震・津波関係)【抜粋】

旧  
No.

No.	分野	項目	指摘場所	指摘日	コメント内容	回答日
S4-14	地震	内陸地殻内地震	第1035回会合	2022年3月18日	F-14断層による地震の震源モデルにおいて、不確かさケースのベースとなる基本ケースの位置づけについて整理し、説明すること。 また、基本ケースに含まれる地震動評価上の不確かさについて、先行地点の審査実績を踏まえ、考え方が分かるように整理し、説明すること。	今後ご説明予定
S4-15	地震	内陸地殻内地震	第1035回会合	2022年3月18日	F-14断層による地震の断層傾斜角の不確かさを75°とする根拠として、高傾斜の縦ずれ断層60°との違いを考慮したと記載しているが、ここで60°と限定している理由・根拠を充実させ、記載を適正化すること。	今後ご説明予定
S4-16	地震	内陸地殻内地震	第1035回会合	2022年3月18日	奥尻3連動の地震の断層上端に3点設定した破壊開始点について、比較対象として破壊開始点をずらした検討を行い、破壊開始点の位置と地震動評価の関係について分析すること。 また、アスペリティ中央下端に3点設定した破壊開始点について、断層下端のそれ以外に破壊開始点を設定したケースについても検討すること。	今後ご説明予定
S4-17	地震	内陸地殻内地震	第1035回会合	2022年3月18日	奥尻3連動の地震の経験的グリーン関数法による地震動評価に用いる要素地震について、北部セグメントの要素地震を観測記録が存在しない中央セグメント及び南部セグメントにも展開してよいとする理由を説明すること。	今後ご説明予定
S4-18	地震	内陸地殻内地震	第1035回会合	2022年3月18日	奥尻3連動の地震の経験的グリーン関数法及び統計的グリーン関数法による地震動評価の比較に関し、長大な断層であることを踏まえ、長周期側の影響を考慮できるハイブリッド合成法による地震動評価を追加し、経験的グリーン関数法の長周期の妥当性を確認すること。	今後ご説明予定
S4-19	地震	全国共通に考慮すべき地震	第1035回会合	2022年3月18日	留萌支庁南部地震の地下構造モデルによる補正について、統計的グリーン関数法に用いる地下構造モデルの層を分割して設定することは、受け入れられないため、先行軟岩サイトでの審査実績を踏まえ、再度検討すること。	今後ご説明予定
S4-20	地震	全国共通に考慮すべき地震	第1035回会合	2022年3月18日	留萌支庁南部地震のインピーダンス比により補正した地震動は、地盤の増幅や減衰を一切考慮していないことから、この採用可否について再度検討すること。	今後ご説明予定
S4-21	地震	全国共通に考慮すべき地震	第1035回会合	2022年3月18日	留萌支庁南部地震の基盤地震動の評価において、途中段階で最大加速度(水平)609cm/s <sup>2</sup> を620cm/s <sup>2</sup> としているが、保守性を考慮する手順について、先行軟岩サイトでの審査実績を踏まえ、再度検討すること。	今後ご説明予定
S4-22	地震	全国共通に考慮すべき地震	第1035回会合	2022年3月18日	標準応答スペクトルに基づく検討において、一様乱数位相を用いた模擬地震波と実観測記録位相を用いる模擬地震波から、代表波を選定する際の根拠について、説明を充実すること。	今後ご説明予定

コメントNo.の凡例 (1列目)H:ヒアリングでのコメント, S:審査会合及び現地調査でのコメント

(2列目)R:論点, 1:敷地周辺地質, 2:敷地地質, 3:地下構造, 4:地震, 5:津波, 6:火山, 7:地盤・斜面

注1) 項目のうち「第四系中の変状」(第700回審査会合までの記載)については「後期更新世に生じた変状」に改称。